

2026年の知財教育：杉浦淳教授が描く「知的資産ガバナンス」への転換

従来の教育：権利の取得と特許法



新しい教育：知のマネジメント（ガバナンス）と知的資産

教育コンセプトの
劇的な転換



AI・データ時代の新・人材像



AIを「徹底活用」し、
限界を学ぶ
ハルシネーション抑制・問い
を立てる力



95%
知的資産へのスコープ拡大
(Japio YEAR BOOK
2025論文に基づく分析)



法律・技術・経営を
横断する「翻訳者」



AI Actなどの
規制理解



無形資産を
企業価値へ

期間と主要な注力テーマの変遷

2018年～2023年：
中小企業 × 産学連携
(論文・特許情報の活用)

2024年～2025年：
知財教育のスコープ再定義
(知のマネジメント・知的資産)

2026年以降：
AI × 知的資産ガバナンス
(ハルシネーション抑制・実装)